

コンテナ輸送について 5年 名前 ()

○コンテナとは…

コンテナは鉄やアルミニウムでできた、広さがたたみ18畳^{じょう}（40フィートコンテナの場合）の四角い箱ですが、この箱の中には、野菜から大型コンピュータまで、何でも入れて運ぶことができます。また、コンテナには、冷蔵装置^{れいぞうそうち}がついたものもあり、生鮮食料品^{せいせんしょくりょうひん}なども安全に運べます。



コンテナには、20フィートコンテナと40フィートコンテナの2つの大き

さがあり、世界で共通のサイズなので、どの国でもスムーズに荷物を積み下ろすことができます。わが国の外国

貿易^{ぼうえき}で運ばれる荷物の約95%は、コンテナによって船で運ばれています。

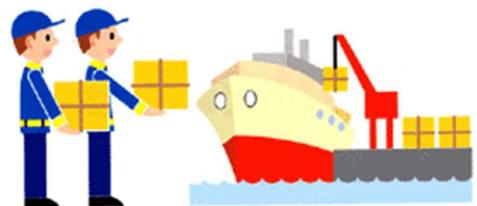


○コンテナができる前と後の荷物の積み下ろし

今から30年ほど前にコンテナができる前は、船で運ばれる荷物は、フォークリフトや人の手で積み下ろし^{つみおろし}されていました。バラバラに積まれた荷物を少しずつ積み下ろすため、人と時間が必要だったのです。

しかし、コンテナは、専用^{せんよう}の機械^{きかい}で大量^{たいりょう}の荷物を積み下ろすため、今では、重さが30トン（1トン＝1,000kg）以上のコンテナを、人の手で60時間かかっていたものを、わずか2分間で積み下ろすことができます。港に着いたコンテナは、すぐに仕分けされ、スムーズに国内各地に運ばれます。

60時間 → 2分



○コンテナを積み下ろす、ガントリークレーンオペレーター

コンテナにより荷物を積み下ろす時間と人数を大きく減らすことを可能にしたのは、コンテナを積み下ろすガントリークレーンとその操作^{そうさ}をするオペレーターです。オペレーターは、地上から30mの高さにある運転室^{うんでんしつ}からクレーンを操作^{そうさ}します。

